



■活動日：2018年1月13日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 10名

■活動内容

- 2018年活動始めの今回は、竖穴式では2台目 累計4台目のフクロウの巣箱架け、岸和田市のマックス1.2リューベ（1200ℓ）の水が備蓄できる貯水槽とホースの神於山シャープの森への移動、ミカンの植込み位置の決定と日照を阻害する自然木の除伐に取り組み、ほぼ計画通り作業を終えることができました。
- また12本植える予定のミカンの苗の植込みについて、今後次のスケジュールで進めることにしました。
 - ①ミカンの木の植込み日は3月17日（土）で、苗木の特性から雨天決行で行う。
 - ②植穴掘りと土作り（土壌改良と肥料入れ）は、1箇月前には終わっていないといけなことから、余裕を見て2月3日（土）を臨時活動日に設定し、実施する。
- 香遠代表が、車載できる100ℓの貯水タンクを持参してくれたので、運ぶ手立ては出来ましたが、どうやって水を確保するかが大きな課題です。
- 今後は、活動日にそれぞれペットボトルやポリタンクに水を入れて運び込むことにしましたが、量が追いつきませんから、2月中旬までに神於山で先人たちが作った“雨水をためる仕掛け”をあちこちに施すこととなります。正に“お楽しみはこれから！”です。

■活動-1：4台目のフクロウの巣箱架け。

場所はシャープの森と竹林の接点辺りです。

写真1



シャープの森からは下の位置。

写真2



竹林からは上の位置。

- シャープの森側から見るとずっと下ですが…（写真1）
- 竹林側から見るとずっと上です。（写真2）
- 近づくとも神於山の北東側の景観が広がる見晴らしのいいところで、フクロウが見つければ、気に入りそうなロケーションです。
- USB端子は、他の巣箱と同しくペットボトルで保護しています。

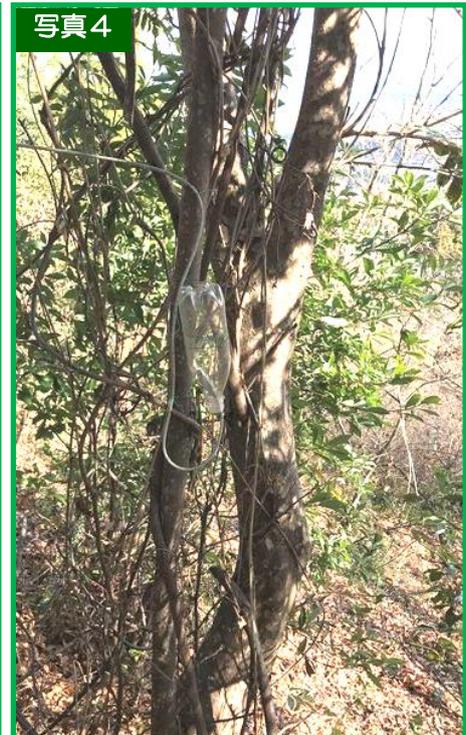


写真3



近づくとも神於山の北東側斜面の景観が広がる位置。

写真4



USB端子はペットボトルに。

■活動-2：貯水槽の移動。

展望台近くからシャープの森に移動しました。

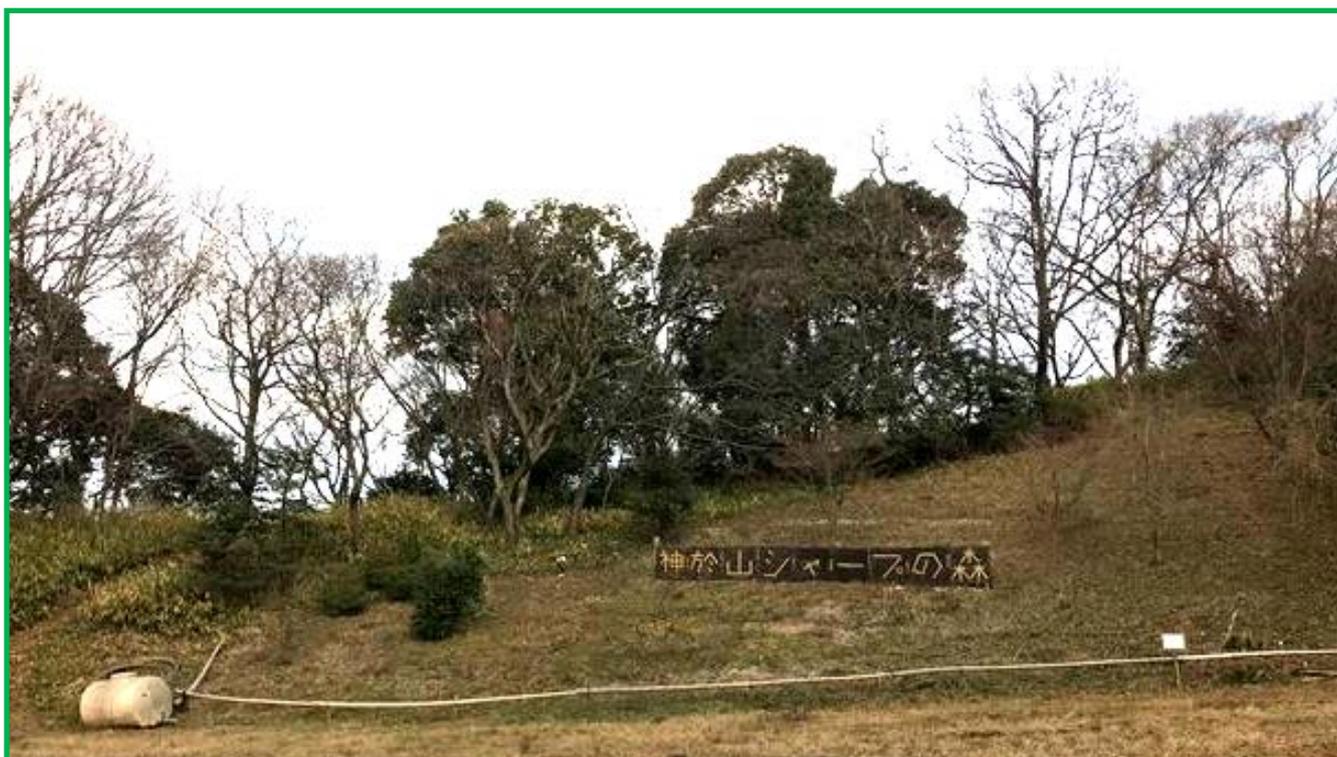


- ミカンの木がしっかり根付き、実を結ぶようになるまで5年かかるそうですが、その間、特に植えてから1~2年は雨が降らない場合、10日に一回のペースで、1本平均約30ℓの水遣りが必要と言われています。
- 従い安定した水遣りを行うには貯水槽は必要な設備で、これが岸和田市の機材を移設利用する形で確保できたのはラッキーでした。岸和田市に感謝です。
- ただ貯水槽に入れる水の確保ができてこそその貯水槽です。
- 活動日ごとに参加者が水を運ぶことに加え、雨水の利用は欠かせません。
- 次回の活動日にはこの仕組みづくりに取り組みます。

展望台への斜面を使って林道近くまで降ろせてホッと一息



シャープの森まで無事運べてホッと一息。貯水槽はホースの位置に設置する予定です。



神於山シャープの森の看板の下が植栽ゾーンですから、雨水取水装置は看板より上に作ると良さそうです。

■ミカンを植える位置決めと、日照を阻害する自然木の除伐



植え位置に目印の杭打ち。メジャーを使っての作業です。



除伐した木の搬出

- 苗と苗の間を 4.5m に設定し、日照優先で配置を検討した結果、12 本中記念樹ゾーンに 9 本、暗渠回りに 3 本植えることになりました。 植える位置には目印に杭を打ちました。
- 除伐した日照を阻害する自然木は、昨年岸和田市から除伐の了承を得たものです。

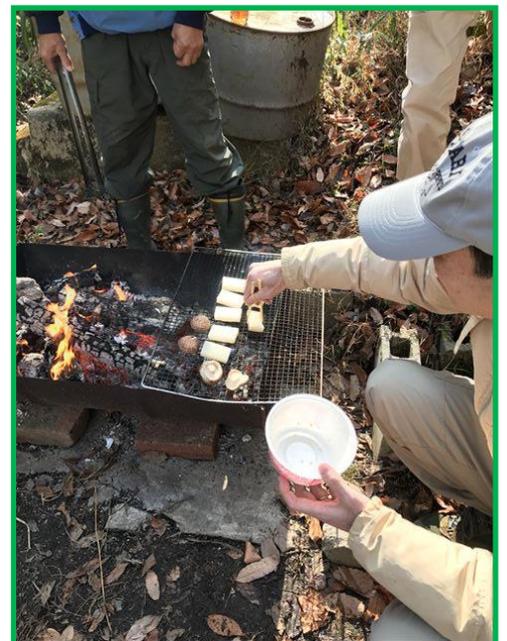
■活動頂いた 10 名の皆さん。

暖取りのドラム缶たき火の前で一枚。お疲れ様でした。



香遠代表以下全員がドヤ顔です。

- 朝の気温は 2℃、昼で 3℃と冷え込みが一番でしたから久しぶりにドラム缶でたき火をし、出来た燠で香遠さんが持参されたモチを焼いて新年を祝いました。
- 味付けは醤油と砂糖とシンプルですが、寒い中、燠で焼いたモチは格別で、マイウでした。次回は焼き芋がメニューに加わりそうです。



- 基地の落ち葉を集めてシンボルツリーのエノキの根元の落ち葉だまりに入れました。
- エノキは国蝶のオオムラサキの幼虫の植樹で、オオムラサキは神於山保全くらぶさんが養殖に取り組まれていますから、神於山シャープの森から巣立つオオムラサキが見られるかもしれません。楽しみですね。

以上